

# 授業科目 災害看護学演習

【担当教員名】 三澤 寿美、宇田 優子		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 災害ならびに不測の事態が発生した場合の看護介入と災害への備えに必要な基礎的知識・技術・態度を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害サイクルと社会制度、災害看護の基本を理解する。</li> <li>2. 災害の種類による被害の違いを対比して、看護活動を関係づけることができる。</li> <li>3. トリアージの基本的考えを理解し模擬事例に対して体験する。</li> <li>4. 医療機関と地域・避難所の活動場所に応じた災害看護活動を理解する。</li> <li>5. 避難支援方法・応急手当・避難場所での日常生活援助の基本を実施する。</li> <li>6. 災害時のこころのケアについて、基本的知識・看護介入を理解する。</li> <li>7. 災害看護における看護介入や救援チーム、他職種との連携を考察する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	災害看護の概念と役割（1）			1、2	講義
2	災害看護の概念と役割（2）			1、2	講義
3	トリアージの基本と方法（1）			3	講義・演習
4	トリアージの基本と方法（2）			3	講義・演習
5	医療機関内での災害看護（1）			2、4	講義・演習
6	医療機関内での災害看護（2）			2、4	講義・演習
7	地域・避難所での災害看護（1）			2、4	講義・演習
8	地域・避難所での災害看護（2）			2、4	講義・演習
9	災害とこころのケア			6	外部講師を予定
10	国際災害看護：日本と世界の事例			1～4、6、7	外部講師を予定
11	復旧・復興期の看護			4、6、7	外部講師を予定
12	避難支援・応急手当・避難場所での日常生活援助（1）			5	演習
13	避難支援・応急手当・避難場所での日常生活援助（2）			5	演習
14	避難支援・応急手当・避難場所での日常生活援助（3）			5	演習
15	まとめ * 授業内容や順序を変更する場合があります			1～7	講義・全体討議
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		NICE 災害看護	酒井 明子	南江堂	2,415 円
参考書		未定			
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と授業参加態度 20% 筆記試験 80%			【履修上の留意点】 日頃から災害、災害医療と災害看護について、新聞や文献から情報を得て、関心を持つようにする。		